団 体 名: (一財)徳島県観光協会

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	为金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	「徳島観光アカデミー」開催事業	観光人材の即戦力強化、次世 代の観光産業の担い手のため の講座を開催する	1	R6.8.27	R7.2.28	2,924	2,924	第2号(競争に不向き)	公募型プロポーザル方式にて選定
2	①委 託	とくしまロケーション・ブラン ド発信事業実施業務	フィルム・コミッション事業の普及 啓発及び支援	1	R6.4.1	R7.3.31	14,085	14,085	第2号(競争に不向き)	県内の観光資源や観光施設に関する情報を熟知し、地元市町村や地域住民(団体)との連携や信頼関係が必要不可欠であり、(一社)徳島県観光協会はこれらを満たす唯一の公的機関であるため。
3	①委託	魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業に係 る業務	観光コンテンツの発掘・磨き上げや観光情報発信の強化	1	R6.4.1	R7.3.31	18,465	18,465	第2号(競争に不向き)	本事業の実施に当たっては、徳島県の 観光推進施策への十分な理解、県内の 観光コンテンツに関する見識、観光プロ モーション等に関するノウハウが求められるとともに、県内の観光DMOや市町 村、県内外の観光関連事業者だけでな く、海外地域との連携や調整など、徳島 県と同様の事業遂行の能力が求められ る。 (一財)徳島県観光協会は、当事業を 実施するために必要なノウハウ、人村、 事業実施体制を有しており、県内に同等 の能力を有する企業、団体が他になく、 唯一の団体であるため。
4	①委託	着地型観光コンベンション事業	着地型旅行商品の情報発信等	1	R6.4.1	R7.3.31	14,728	14,728	第2号(競争に不向き)	本事業を実施するに当たり、県内市町村や観光関係団体等との連携が必要であるとともに、公平性や透明性の確保が必要不可欠であり、これを満たす県内事業者は、県内観光資源や観光施設に関する内容を熟知し、全県を対象として観光客誘致事業を実施している県内唯一の団体で、県内市町村や観光関係団体、旅行業者等と常から連携している公的機関である(一財)徳島県観光協会しかない。また、同協会が実施するコンベンション開催支援助成に併せて当事業を実施することで、観光客誘致や観光経済の活性化などの相乗効果も期待できるため。

団 体 名: (一財)徳島県観光協会

(金額単位:千円)

所管課: 観光企画課

		契約	内容	相手方選	契約	勺日等	契約	金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
5	①委託	香港取材関係者受入対応 業務	香港からのインバウンド誘客に 資する取材が予定されていることから、より多くの観光情報を発 信できるように取材のサポートを 行い、インバウンド誘客拡大に 繋げる。	1	R6.9.3	R6.11.29	848	848	第1号(少額の場 合)	本業務は香港からの取材対応にあたり、中国語(広東語)での対応と、取材関係者から取材先の観光地について質問があった場合の対応のため、県内の観光に関する深い知識を必要としている。(一財)徳島県観光協会は、広東省出身の職員が常勤しており、県内の観光に関する知識も十分に持ち合わせていることから、最も効率的に業務遂行が見込めるため。
6	①委 託	タイ市場向けエージェント業務	タイから徳島県への人流・物流・ 商流の拡大を図るため、現地 エージェントを確保し、効果的な 営業活動を行うほか、タイの有 力旅行博への出展、SNS を活 用した情報発信を行う。	1	R6.5.1	R7.3.31	2,700	2,700	第2号(競争に不 向き)	公募型プロポーザルにて選定

(金額単位:千円)

<u> 所管課:</u> 観光誘客課

			契約	内容	相手方選	契約	内日等	契約	3金額		随意契約の理由等
番	号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	1		徳島阿波おどり空港フライト・インフォメーション・システム及び旅客誘導表示改修 業務	徳島阿波おどり空港における国際線(香港)受入対応として、フライト・インフォメーション・システム及び旅客誘導表示を改修する。	1	R6.6.28	R6.7.17	1,741	1,741	第2号(競争に不向き)	徳島空港ビル株式会社は、空港法第15条に基づき空港ごとに指定される徳島阿波おどり空港唯一の「空港機能を確保するために必要な航空旅客若しくは航空建物の取扱施設又は航空機給油施設を建設し、又は管理する事業を行う者)であり、徳島空港ターミナルビルを保有・でも、及び徳島県立航空を会手にしている。本業務は、徳島空港ターミナルビルが、び徳島県立航空を会手にしている。本等は、徳島空港ターミナルビルの右に、徳島県立航空旅客取扱施設内で所有・管理又は指定管理するFIS(フライト・インフォメーション・システム)の表示ボでものであり、同社は本事業を実施できる唯一の事業者と認められる。
	2	① 委 託	徳島阿波おどり空港フライト・インフォメーション・システム改修業務	徳島阿波おどり空港における国際線(韓国)受入対応として、フライト・インフォメーション・システムを改修する。	1	R6.11.5	R6.11.27	1,401	1,401		徳島空港ビル株式会社は、空港法第15条に基づき空港ごとに指定される徳島阿波おどり空港唯一の「空港機能施設事業者」(空港においてその機能を確保するために必要な航空旅客若しくは航空貨物の取扱施設又は航空機給油施設を建設し、又は管理する事業を行う者)であり、徳島空港ターミナルビルを保有・管理運営し、及び徳島県立航空旅客取扱施設の指定管理を受託していることから、本事業を実施できる唯一の事業者と認められる。本業務は、徳島空港ビル株式会社が、徳島阿波おどり空港ターミナルビル及び徳島県立航空管理するFIS(フライト・インフォメーション・システム)の表示ボード、制御装置、操作卓等の一体的な改修を行うものである。

団 体 名: 徳島空港ビル株式会社

(金額単位:千円)

<u> 所管課:</u> 観光誘客課

		契約	内 容	相手方選	契約	的日等	契約	1金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
3	①委託	国際定期便利用者駐車場割引支援業務	徳島空港駐車場を利用し、当該路線に搭乗する乗客を対象にした駐車場料金の割引を行い、徳島阿波おどり空港を発着する国際定期便のアウトバウンド利用の促進を図る。	1	R6.10.28	R7.3.31	1,606	1,607	第2号(競争に不向き)	本業務は、徳島阿波おどり空港に就航する国際定期便搭乗する乗客を対象に布を対象に布を行い、アウトバウンド利用の促進をするものである。利用者の利便性を考慮と、到着後確実に通過する空港ターミナルビル内かつ分かりやすい場所にあると、到着後確実に通過する空港がよるをである。。 徳島空港で配布することが最も効である。 徳島空港ビル株式会社は定港機の下で配布することに指定港機能を確認を当まとに必要な航空機能を確認を連設し、又は管理する事業を行う者・管理するより、徳島である。といることから、本本の収益に必要を表していることがら、本の表に対して、といる。
4	①委 託	徳島阿波おどり空港到着者 靴底消毒実施業務	徳島阿波おどり空港の到着者通路において、豚熱等家畜伝染病に有効な消毒薬を染み込ませたマット上を通過することによる靴底消毒に関する業務	1	R6.4.1	R7.3.31	1,405	1,405	第2号(競争に不向き)	当該空港を管理しているため。

<u> 所管課: 文化振興課</u>

団 体 名: (公財)徳島県文化振興財団

		契約	内 容	相手方選	契約	勺日等	契約	金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第16 7条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	① 委 託		本県ならではの文化を継承し、 人材育成や文化振興を図るとと もに、文化の力で地域の活性化 に視する取組を実施するもの	1	R6.4.1	R7.3.31	1,846	1,846	第2号(競争に不向き)	(公財)徳島県文化振興財団は、本県文化振興の拠点施設である徳島県郷土文化会館(あわぎんホール)の運営に関する高い専門性と、様々な文化事業の実施実績に基づく文化の継承・発展のための知見を有している。また、本業務の実施にあたり必要となる県と連携した取組の推進においても多数の実績があることからも、効率的かつ効果的な業務遂行が期待できるため。

団 体 名: (公財)徳島県埋蔵文化財センター

		契約	内容	相手方選	契約	約日等	契約	为金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	令和6年度徳島管内道路埋 蔵文化財調査委託	埋蔵文化財発掘·整理業務	1	R6.4.1	R7.3.31	111,200	111,200	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共工事に伴 う埋蔵文化財調査業務を委託できる機関 が他にないため。
2	①委 託	令和6年度街路事業(住吉· 万代·園瀬橋線)関連埋蔵 文化財発掘調査業務	埋蔵文化財発掘業務	1	R6.4.1	R7.3.31	45,800	45,800	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共工事に伴 う埋蔵文化財発掘調査業務を委託できる 機関が他にないため。
3	①委 託	徳島法務総合庁舎新営事 業に伴う令和6年度埋蔵文 化財調査業務	埋蔵文化財整理業務	1	R6.4.1	R7.3.31	32,100	32,100	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共事業に伴 う埋蔵文化財発掘調査業務を委託できる 機関が他にないため。
2	①委 託	令和6年度県立中央病院局 南棟(ER棟)増築工事に関 する埋蔵文化財整理業務	埋蔵文化財整理業務	1	R6.12.27	R7.3.31	13,500	13,500	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共事業に伴 う埋蔵文化財発掘調査業務を委託できる 機関が他にないため。
Ę	①委 託	令和6年度緊急地方道路整 備事業船戸切幡上板線土 成工区関連埋蔵文化財整 理業務	埋蔵文化財整理業務	1	R6.4.1	R7.3.31	20,900	20,900	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共工事に伴 う埋蔵文化財発掘調査業務を委託できる 機関が他にないため。
6	①委 託	令和6年度那賀川河川改修 事業(加茂堤防)に伴う埋蔵 文化財整理業務	埋蔵文化財整理業務	1	R6.4.1	R7.3.31	102,100	102,100	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共工事に伴 う埋蔵文化財整理業務を委託できる機関 が他にないため。
7	,①委 託	令和6年度那賀川河川改修 事業(阿南市十八女堤防) 関連埋蔵文化財発掘調査 業務	埋蔵文化財発掘業務	1	R6.12.23	R7.3.31	22,700	22,700	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共工事に伴 う埋蔵文化財整理業務を委託できる機関 が他にないため。
8	①委 託	令和6年度蔵本公園プール スタンド改築工事関連埋蔵 文化財整理業務	埋蔵文化財整理業務	1	R6.5.31	R7.3.31	18,000	18,000	第2号(競争に不向き)	徳島県及び国が実施する公共事業に伴 う埋蔵文化財整理業務を委託できる機関 が他にないため。

契約のうち随意契約によるもの

団 体 名: (公財)徳島県埋蔵文化財センター

(金額単位:千円)

<u> 所管課: 文化資源活用課</u>

		契約	内容	相手方選	契約	勺日等	契約	う 金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
9	①委 託	令和6年度収蔵庫等管理業 務	収蔵庫等管理業務	1	R6.4.1	R7.3.31	3,900	3,900	第2号(競争に不向き)	県内の遺跡や発掘調査の状況及び歴史 的環境等の特性を正しく理解し、適切に 業務を遂行できる専門性を持った県内唯 一の業者であるため。
10	①委	温故知新!「いにしえ」を訪ねて「ミライ」を創るプロジェクト事業埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」実施業務	埋蔵文化財速報展実施業務	1	R6.4.1	R7.3.31	650	650	第2号(競争に不 向き)	県内の発掘調査に関わり、出土遺物の 状況や特性を正しく理解し、保存につい ても適切に業務を遂行できる専門性を 持った県内唯一の業者であるため。
11	①委 託	令和6年度遺物保存処理等 業務	遺物保存処理等業務	1	R6.4.1	R7.3.31	174	174	第2号(競争に不向き)	県内の発掘調査に関わり、出土遺物の 状況や特性を正しく理解し、保存につい ても適切に業務を遂行できる専門性を 持った県内唯一の業者であるため。

団 体 名: (公財)徳島県国際交流協会

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	为金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総 額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	① 委 託	令和6年度 外国人にやさしい徳島づく り推進事業	国際理解支援講師の派遣や国際理解フォーラムの開催、専門ボランティアの養成、防災啓発等に係る業務	1	R6.4.1	R7.3.31	14,332	14,332	第2号(競争に不 向き)	当協会は徳島県ほか県内市町村等の出 損により設立された公益財団法人であ り、国際交流に関する県及び関係機関か ら委託された事業を実施しており、豊富な 経験と専門的知識及びノウハウを有して いる。また当該業務の成果を実効あるも のにするためには、常に県と緊密な連絡 体制が整っていることが必要であるた め。
2	①委 託	令和6年度 地域で学ぶ!日本語教育 推進事業	日本語教室の開催、日本語指導ボランティア養成講座等の外国人の日本語教育の推進に係る業務	1	R6.4.1	R7.3.31	7,821	7,821	第2号(競争に不 向き)	当協会は徳島県ほか県内市町村等の出損により設立された公益財団法人であり、国際交流に関する県及び関係機関から委託された事業を実施しており、豊富な経験と専門的知識及びノウハウを有している。また当該業務の成果を実効あるものにするためには、常に県と緊密な連絡体制が整っていることが必要であるため。
3	①委 託	旅券作成業務	旅券業務に係る申請相談、申 請·交付窓口業務、旅券作成業 務及びそれに付随する業務	1	R6.4.1	R7.3.31	22,370	22,370	第2号(競争に不 向き)	本業務は都道府県知事が外務大臣から 法定受託業務として受託しているもので あり、個人情報を扱う業務であることか ら、本来は県職員を配置することになって いる。旅券法の趣旨を尊重し、責任ある 発給体制を確保する観点から、当該業務 はその性質、目的が競争入札に適さな い。そして、当協会は旅券法、戸籍法等 の関係法令に精通し、旅券作成機器操 作等業務遂行についての技術、経験を有 した人材を擁しているため。
4	① 委 託	令和6年度 とくしま国際戦略センター推 進事業	多言語相談窓口運営及びとくしま国際戦略センターホームページによる多言語情報提供を行う業務	1	R6.4.1	R7.3.31	17,700	17,700	第2号(競争に不 向き)	当協会は徳島県ほか県内市町村等の出損により設立された公益財団法人であり、国際交流に関する県及び関係機関から委託された事業を実施しており、豊富な経験と専門的知識及びノウハウを有している。また当該業務の成果を実効あるものにするためには、常に県と緊密な連絡体制が整っていることが必要であるため。

所管課: 多文化共生・人権課

団 体 名: (公財)徳島県国際交流協会

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	为金額 5		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
5	① 委 託	外国青年招致事業徳島オリ	オリエンテーションに係る資料・ 教材の企画及び作成、その他こ れに付随する業務	1	R6.6.7	R6.10.10	914	914	第2号(競争に不向き)	当協会は徳島県ほか県内市町村等の出損により設立された公益財団法人であり、国際交流に関する県及び関係機関から委託された事業を実施しており、豊富な経験と専門的知識及びノウハウを有している。また当該業務の成果を実効あるものにするためには、常に県と緊密な連絡体制が整っていることが必要であるため。
6	①安 红	令和6年度 地域とつなぐ!在住外国人 支援事業	市町村や地域交流団体と連携し、地域における多文化共生を推進するため、外国人の地域活動への参加促進やネットワーク形成を行う業務	1	R6.4.1	R7.3.31	7,262	7,262	第2号(競争に不向き)	当協会は徳島県ほか県内市町村等の出損により設立された公益財団法人であり、国際交流に関する県及び関係機関から委託された事業を実施しており、豊富な経験と専門的知識及びノウハウを有している。また当該業務の成果を実効あるものにするためには、常に県と緊密な連絡体制が整っていることが必要であるため。

団 体 名: 阿佐海岸鉄道株式会社

(金額単位:千円)

<u> 所管課: 交通政策課</u>

Ī			契約	内容	相手方選	主刀幺	5日等	却 刻	为金額		随意契約の理由等
	香号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	元 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	1	① 託	DMVを活用した阿佐果線 利田促進事業系託業務	車両自体が観光資源となるDM Vを最大限活用し、阿佐東線の 利用促進を図る。	1	R6.7.5	R7.3.25	2,500	2,500	第2号(競争に不向き)	本業務の実施に当たり、DMV車両本体や関連施設を通常の営業運行に支障がない範囲で利活用する必要があり、DMVを運行管理する阿佐海岸鉄道の主体的な参加が不可欠である。さらに、DMV車両本体については、車両の安全管理・運行管理上、第三者への貸出しが不可能となっており、契約の性質または目的が競争入札に適さないため。

契約のうち随意契約によるもの

団 体 名: (公財)とくしま"あい"ランド推進協議会

(金額単位:千円)

____所管課: 長寿いきがい課

			契 約	内容	相手方選	契約	勺日等	契約	勺金額		随意契約の理由等
1	号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	1 (①委 託	フレイル予防で健康長寿プ	フレイルを予防し、高齢者ができるだけ長く健康でいられるようフレイル予防・健康づくりに資する普及・啓発を行うため、情報誌「いのち輝く」において特集記事を掲載する。	1	R6.4.1	R7.3.21	1,500	1,500	第2号(競争に不向き)	高齢者の生活不活発によるフレイルを予防し、高齢者ができるだけ長く健康でいられるよう、積極的な啓発活動を行うことを目的としている。情報誌「いのち輝く」は、高齢者の情報に特化した情報誌として、県内最大の発行部数となる3,700部であり、高齢者を中心に県内関係機関・各層で広く愛読されており、また、一般にもれていることから、高齢者のフレイル予防啓発には効果的であるため、同誌の発行者である(公財)とくしま"あい"ランド推進協議会への委託が最適である。

団 体 名: 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	为金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	徳島県地域生活定着促進 事業	高齢又は障がいにより、福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者等に対して、矯正施設や保護観察所等と連携し、矯正施設や保護観察所等と連携し、矯正した相談支援を実施する。		R6.4.1	R7.3.31	26,614	26,614	第2号(競争に不向き)	本事業は、高齢又は障がいにより福祉的な支援を必要とする矯正施設退所者等に対し、保護観察所等と連携し、矯正施設入所中から退所後まで一貫した相談支援を行うものであることから、切れ目のない継続的な支援が必要であり、また、支援の上では特別調整者との信頼関係が重要であるため。
2	①委託	再犯防止相談窓口設置事 業	罪を犯した方やその家族等から、抱える悩みや課題等の一時的な相談に応じ、各関係支援機関への連絡調整や紹介により、適切な支援へと繋げる。		R6.4.1	R7.3.31	974	974	第2号(競争に不向き)	矯正施設出所者等に対する相談対応 や支援を行うには、矯正施設出所者等の 心身の状況や置かれた環境に関する理 解と配慮、また、各種の支援制度等の専 門知識を有する必要がある。 徳島県社会福祉事業団については、平 成23年度から高齢又は障がいのある矯 正施設出所者の支援業務(地域生活定 着促進事業)を実施しており、検察庁や 保護観察所等の専門機関からも情報提 供を受けるなど、連携も取れているた実 を持っている。 以上のことから、本業務を委託できるの は、矯正施設出所等等支援及び再犯防 止関係における法律等の専門分野に精 通している当該法人のみである。
3	①委 託	点字広報等発行事業	県政だより「OUR徳島」等県広報 の録音版、点字版の発行		R6.4.1	R7.3.31	3,073	3,073	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは身体障害者福祉法第34条に定める視聴覚障害者情報提供施設として県内唯一であり、当該事業の企画運営に対する優れたノウハウを有しており、当該センターの運営管理を行う社会福祉事業団に委託することが最も適切であるため。
4	①委 託	点訳・音訳奉仕員スキル アップ事業	点訳・音訳奉仕員養成事業において養成、登録された奉仕員に対し、視覚障がい者のより一層のコミュニケーションを確保するため、講習会等を開催する。		R6.4.1	R7.3.31	200	200	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは身体障害者福祉法第34条に定める視聴覚障害者情報提供施設として県内唯一であり、視覚障がい者の福祉向上に寄与する各奉仕員の養成に対する優れたノウハウを有しており、当該センターの運営管理を行う社会福祉事業団に委託することが最も適切であるため。

(金額単位:千円)

所管課: 障がい福祉課

		社会個性么人認為宗社会情								(並領年位.十日)
		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
5	①委 託	手話通訳等意思疎通支援 促進事業	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者登録試験実施事業 ・自立と社会参加のまちづくり事業 ・要約筆記者養成事業 ・要約筆記者登録試験実施事業 ・要約筆記者スキルアップ事業 ・手話通訳者全国統一試験対策 講座 ・手話通訳士養成研修事業		R6.4.1	R7.3.31	20,088	20,088	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは身体障害者福祉法第34条に定める視聴覚障害者情報提供施設として県内唯一であり、県内の中途失調・難聴者当事者団体及び要約筆記活動団体との連絡調整を円滑に行い、当該事業の企画運営に対する優れたノウハウを有していることから、当該センターの運営管理を行う社会福祉事業団に委託することが最も適切であるため。
6	①委 託	専門性の高い意思疎通支 援を行う者の派遣事業	専門性の高い手話通訳者及び 要約筆記者の派遣・調整を行 う。		R6.4.1	R7.3.31	1,870	1,870	第2号(競争に不向き)	本事業は、聴覚障がい者の意思疎通支援を目的としており、聴覚障がい者に対する知識と理解を要し、また聴覚障がい者当事者団体及び手話通訳・要約筆記活動団体及び市町村等との連絡調整が必要である。専門知識かつ豊富な経験を有し、本県の視聴覚障がい者情報提供施設を管理運営している社会福祉事業団に委託することが最も効果的であると認められるため。
7	①委 託	「とくしま県議会だより」録音 版及び点字版発行事業	「とくしま県議会だより」録音版及 び点字版の発行	1	R6.4.10	R7.3.31	1,619	1,619	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは、県内唯一の視聴覚障がい者情報提供施設であり、音訳奉仕員及び点訳奉仕員の養成を行うなど音訳及び点訳に対する優れたノウハウと、国際規格に適合したデジタル録音機器を有しており、当該センターの管理運営を行う社会福祉事業団に委託することが妥当であると考えられるため。
8	①委 託	視覚障がい者等読書環境 整備事業	専門書等幅広いニーズに応える ため、専門点訳講習会を開催す るなど、視覚障がい者の読書環 境を整備する。		R6.4.1	R7.3.31	2,400	2,400	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは身体障害者福祉法第34条に定める視聴覚障害者情報提供施設として県内唯一であり、当該事業の企画運営に対する優れたノウハウを有しており、当該センターの運営管理を行う社会福祉事業団に委託することが最も適切であるため。

(金額単位:千円)

所管課: 障がい福祉課

		契約	内 容	相手方選	契約	的日等	契約	力金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
g	①委 託	読書バリアフリー推進事業	県内の読書バリアフリー推進を 目指し、公立図書館等職員研修 等を開催する。		R6.4.1	R7.3.31	1,600	1,600	第2号(競争に不向き)	視聴覚障がい者支援センターは身体障者福祉法第34条に定める視聴覚障害者情報提供施設として県内唯一であり、当該事業の企画運営に対する優れたノウハウを有していることから、当該センターの運営管理を行う社会福祉事業団に委託することが妥当であると考えられるため。
10	①委 託	障がい者ICT技術活用事業	障がい者等の情報通信技術 (ICT)の利用機会の拡大や活用 能力の向上を図り、情報へのアクセスを円滑に行えるように支援する。 (ICT機器の紹介や貸出、ICTサポートセンターの設置、ICTサポーターの養成・派遣等)		R6.4.1	R7.3.31	11,500	11,500	第2号(競争に不 向き)	本事業は、障がい者の社会参加を促進することを目的としており、視覚障がい者等に対する知識と理解を要し、また視覚障がい者等に対する知識と理解を要し、また視覚障がい者関係施設等との連絡調整の必要性が高いことから、視覚障がい者情報提供施設を運営している社会福祉事業団に委託することが最も効果的であると認められるため。
11	① 委 託	災害対応人材育成事業	鳥取県の意思疎通支援者等との相互交流研修等を開催し、県内外で活動が出来る意思疎通 支援者等を育成する。		R6.7.1	R7.3.31	448	448	第2号(競争に不 向き)	本事業は、聴覚障がい者の意思疎通支援を目的としており、聴覚障がい者に対する知識と理解を要し、また聴覚障がい者当事者団体及び手話通訳・要約筆記活動団体及び市町村等との連絡調整が必要である。専門知識かつ豊富な経験を有し、本県の視聴覚障がい者情報提供施設を管理運営している社会福祉事業団に委託することが最も効果的であると認められるため。
12	①委 託	意思疎通支援派遣コーディネーター研修事業	聴覚障がい者の特性に配慮した 意思疎通支援者の派遣を、より 適正にコーディネートするため、 専門性及びスキルの高いコー ディネーターの養成を図る。		R6.11.13	R7.3.31	200	200	第2号(競争に不向き)	本事業は、聴覚障がい者の円滑なコミュニケーション支援を目的としており、聴覚障がい者に対する知識と理解を要し、また聴覚障がい者当事者団体及び手話通訳・要約筆記活動団体及び市町村等との連絡調整の必要性が高いことから、本県の視聴覚障がい者情報提供施設を管理運営している社会福祉事業団に委託することが最も効果的であると認められるため。

団 体 名: 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団

		契 約	内容	相手方選		的日等		1金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
13	① 委 託	話通訳事業	知事記者会見等での内容について聴覚に障がいのある者に手話通訳を通じて情報を伝えるため、手話通訳士等を派遣し、発言者の発言内容について、手話の同時通訳を行う。		R6.4.1	R7.3.31	529	529	第2号(競争に不向き)	徳島県から登録を受けた手話通訳者を 把握しており、県内で行われる講演、講 義、研修等において、意思疎通支援者の 派遣を一手に行っている社会福祉事業団 に依頼するのが適当と認められるため。
14	①委 託	障がい者社会参加促進事 業	 心の輪を広げる体験作文及び障害者週間のポスター募集事業 自立と参加のまちづくり事業 障がい者の集い県民大会開催事業 徳島県障がい者福祉バス運行事業 		R6.4.1	R7.3.31	13,274	13,274	第2号(競争に不向き)	障がい者に対する知識と理解、本事業の専門知識かつ豊富な経験を有しており、市町村、各障がい者団体等との緊密な連携調整を円滑に行い、最も効果的な事業の運営ができるため。
15	①委 託	とくしま共生アートプロジェ クト推進事業	障がい者芸術・文化活動支援センター運営事業		R6.4.1	R7.3.31	17,500	17,500	第2号(競争に不向き)	障がい者に対する知識と理解、本事業の 専門知識かつ豊富な経験を有しており、 各障がい者団体等との緊密な連携調整 を円滑に行い、最も効果的な事業の運営 ができるため。
16	①委託	パラスポーツ交流支援事業	・パラスポーツ交流支援事業・とくしまパラスポーツフェスティバル開催事業・とくしまパラスポーツ人材バンク運営事業・パラスポーツ指導員設置事業・ノーマピック・スポーツ大会開催事業	1	R6.4.1	R7.3.31	15,443	15,443	第2号(競争に不向き)	障がい者に対する知識と理解、本事業の 専門的知識かつ豊富な経験を有している こと。 また、競技団体等とのネットワークを活 かした効率的・効果的な事業を展開する ことが可能であること。以上のことから、 全県的なパラスポーツ振興を目的とした 本事業を実施できる唯一の団体であるた め。
17	① 委 託	全国障害者スポーツ大会派遣事業	全国障害者スポーツ大会に徳島 県選手団を派遣することにより、 パラスポーツの振興を図る。	1	R6.4.1	R7.3.31	15,508	15,508	第2号(競争に不向き)	障がい者に対する知識と理解、本事業の専門的知識かつ豊富な経験を有していること。また、競技団体等とのネットワークを活かし、徳島県選手団内での連絡調整等の派遣業務が可能であること。以上のことから、全県的なパラスポーツ振興を目的とした本事業を実施できる唯一の団体であるため。

団 体 名: 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団

(金額単位:千円)

所管課: 障がい福祉課

		契約	内容	相手方選	契約	勺日等	契約	5金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
18	①委 託	障がい者スポーツ推進プロ ジェクト	・パラスポーツ指導者派遣事業・デフ卓球部創設事業・アスリートの技術指導による地域スポーツ促進事業	1	R6.6.17	R7.2.28	1,282	1,282	问さ)	障がい者に対する知識と理解、本事業の専門的知識かつ豊富な経験を有していること。また、競技団体等とのネットワークを活かした効率的・効果的な事業を展開することが可能であること。以上のことから、全県的なパラスポーツ振興を目的とした本事業を実施できる唯一の団体であるため。
19	①委 託	障がい者の生涯学習支援 事業	障がい者の生涯学習を支援するため、徳島県立障がい者交流プラザ等において、障がいのある人の生活や社会参加に役立つ学習、スポーツ、文化芸術に関する各種講座を開催する。		R6.5.31	R7.3.31	480	480	第2号(競争に不 向き)	本事業は、特別支援学校卒業後の障がい者の生涯にわたる学習を支援し、障がい者の自立と社会参加を促すことを目的としている。福祉や特別支援教育に関する専門的な知識と経験を有するとともに、「障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくりの推進に関する協定」を締結していることからも、当該団体に委託することが最も適切であるため。

	1	契 約	内 容	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	主刀幺	約日等	主刀 幻	分金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	相手方選 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	中小企業·雇用対策事業資金運用業務	県が行う中小企業・雇用対策事業の推進に必要な資金を確保するため、機構に貸し付けた資金による債券の購入運用等を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	12,857	12,857	第2号(競争に不向き)	①当該法人は、本県産業振興を担う中核的支援機関であること ②県との協調のもと、しっかりとした資金 運用を行える団体であること ③所得税法第11条の規定により公益財 団法人が支払を受ける利子等は非課税 であり、多額の利子を得ることができること
2) ①委 · 託	とくしま経済飛躍ファンド資 金運用業務	とくしま経済飛躍ファンド事業の 推進に必要な資金を確保するため、機構に貸し付けた資金によ る債券の購入運用等を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	567	567	第2号(競争に不向き)	(1)所得税法第11条の規定により、公益財団法人が支払いを受ける利子等は非課税となっていることから、利子課税される法人よりも多額の利子を得ることが出来るため。 (2)県が所管し、出捐している公益法人であるとともに、本県産業振興に係る中核的支援機関であるため。 (3)とくしま経済飛躍ファンドは、独立行政法人中小企業基盤整備機構、県及び民間の資金により造成されており、県との協調のもと、債権等の運用を適切に行う必要があるため。
3	①委	次世代"光"創出·応用産業 振興支援事業	「次世代"光"創出・応用による 産業振興・若者雇用創出計画」 による徳島大学研究シーズを社 会実装させるため、大学と企業 のマッチングによる研究開発支 援や、計画への参画企業の発 掘を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	16,747	16,747	第2号(競争に不向き)	当団体は「次世代"光"創出・応用による 産業振興・若者雇用創出計画」におい て、製品開発や社会実装、販路開拓等の 事業を総合的に支援することとされてお り、当団体の持つ中小企業支援に関する 十分なノウハウと実績、コーディネーター 配置によるLED関連企業への充実した 支援体制は、本事業を実施するにあたり 適当であるため。
2	①委 託	海外ビジネストータルサポート事業(関西機械要素技術展への出展支援事業)	機械・金属関連企業と県外メーカーとの取引拡大を目的に、関西圏のメーカー調達・開発担当者等が多数来場する、関西機械要素技術展に出展を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	7,000	7,000	第2号(競争に不向き)	当該団体は、新事業創出から販路開拓 まで一元的に中小企業支援を行う県内唯 一の機関であり、在籍する専門コーディ ネーターによるきめ細やかな支援等で県 内中小企業からの信頼を確保している。 また、これまでに県内外の展示会出展実 績が豊富であることから、本事業のより 効果的な実施が可能であるため。
Ę	①委 託	GX製品等販路拡大支援事 業	GX関連製品・技術を有する企業が県外メーカー等に向け効果的にアピール及び販路拡大ができるよう、EV・HV・FCV技術展への出展支援を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	6,848	6,848	第2号(競争に不向き)	当該団体は、新事業創出から販路開拓 まで一元的に中小企業支援を行う県内唯 一の機関であり、在籍する専門コーディ ネーターによるきめ細やかな支援等で県 内中小企業からの信頼を確保している。 また、これまでに県内外の展示会出展実 績が豊富であることから、本事業のより 効果的な実施が可能であるため。

(金額単位:千円)

	<u>г н -</u>	(公別)といしよ性未派央域博	中 京		I ‡π∢	4 D &	±π 4/	- 人 好		(並領単位:十円)
		契 約 	_内 容 	相手方選 定時の見	类和	的日等	突於]金額	根拠規定	随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	依拠税足 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
6	①委 託	徳島県農林漁業者等への サポート活動業務	6次産業化プランナーの派遣等 による農林漁業者等の経営改 善支援	1	R6.4.15	R7.3.27	5,043	5,043	第2号(競争に不 向き)	当事業においては、支援対象者の経営 改善を目的としており、専門的な支援を 行ううえで、入札による所期の効果を得る ことが困難と判断し、公募によるプロポー ザル方式によることとした。 その結果、当該団体のみから提案を受 け、委託先審査委員会による審査の上、 委託先として選定したものである。
7	,①委 託	平成藍大市あったかビジネ ス大賞業務	地域密着型あったかビジネス事業者が参加するビジネスコンペの募集から審査、表彰、展示会出展PRまでの運営全般を実施	1	R6.4.1	R7.3.31	650	650	第2号(競争に不 向き)	中小企業支援法において中小企業の創業、経営指導等の中小企業支援事業を適切かつ確実に実施できる公益法人として県内唯一の指定法人になっており、創業支援や経営指導において十分な実績とノウハウを持ち合わせている。さらに、当該業務は県の補助事業として実施している「創業促進・あったかビジネス支援事業」と一体となった事業であることから、当機構は当該業務を委託できる唯一の団体であるため。
8	① 委 託	プロフェッショナル人材戦略 拠点事業	プロフェッショナル人材戦略マネージャー及びサブマネージャーをびサブマネージャー等のスタッフを採用し、プロフェッショナル人材戦略拠点運営する。地域の中小企業に「攻めの経営」のマインドを植え付けるはり役となり、プロフェッショナをり役となり、プロフェッショナをがして対する地域のニーズを施たしていくと同時に、多様なん化していくと同時に、多様なイネートする。	1	R6.4.1	R7.3.31	26,113	17,000	第2号(競争に不 向き)	当該公益財団法人は、中小企業支援事業を適切かつ確実に実施できる十分な実績とノウハウを持ち合わせている。他府県の同事業の委託状況、また県が実施の人材確保支援費事業と一体となった事業であることから、委託できる唯一の団体であるため。
Ş	①委 託	ものづくり企業DX加速化事業業務	ものづくり企業等のDX推進を支援するための「DXワンストップ窓口」の運営・サポート、DX推進セミナーの開催、及びDX専任コーティネーターの配置		(当初) R6.4.1 (変更) R7.3.28	R7.3.31	6,205	6,205	第2号(競争に不 向き)	当団体は県が所管し、出捐している公益 法人であるとともに、県内中小企業に係 る「新事業創出」「経営革新」「技術開発 支援」「販路開拓」等の事業を総合的、一 元的に支援する十分な実績、ノウハウを 有している。そのため、AI、IoT、ロボット 等のデジタル技術を活用し、企業活動の 業務プロセスを変革するDXを推進するに は最も適切な団体である。

(金額単位:千円)

所管課: 経済産業政策課

		契約	内容	相手方選	5万幺	勺日等	却必	1金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	電子が選 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
10	①委託	生産性革命投資促進事業費補助金事務局運営事業	県内の中小企業等が行う生産 工程やサービス提供方法の改 善に必要な設備・システム投資 に要する経費の一部を助成する 「徳島県生産性革命投資促進事 業費補助金」の事務局運営	1	当初契約 R5/12/22 (一部変更 R6/3/31) (一部変更 R7/3/31)	R7.3.31	10,000	8,598	第2号(競争に不向き)	・本事業は、DXの推進にの取組みに対対に 演等による生産性向上の取組みに対して 財成を行うものであるため、「『とくしまと 推進センター』による支援を受け、DX推 進計画を策定して取り組む事業であること」を補助要件としている。 ・また、国の「重点支援地期間でとともに、 用することから、事業展開を関に対応した。 最適な設備・システムの広報・周知からDX 推進計画の策定、補助の策定、対応による支援を実現するため、事業の広報・別知からの数単的知からの数で、 表達のな設備・システムの広報・周知からの 実現するため、事業の方のない。 表達して取り組む事業である。 を実現がに、本がに、対応に、 表述がですがある。 が理を行う必要がある。デジタル化によれで 生産性の向上や業務の効率化・省としている。 生産性の向上や業務の効率化・省としている、 生産性のの有異の「DX推進センター」が でですがある。 生産性のの本異の「DX推進をしているを 生産性のの本異の「DX推進をしている。 生産性のの本異の「DX推進をしている。 生産性のの本異の「DX推進をしている。 生産性のの本異の「DX推進をしている。 生産性のの本異の「DX推進をしている。 生産性のの本異の「DX推進をしている。 を促進する、「とくしまの発展に成る を促進するな取組みを金融、事業助成、経営る公益財団法人とくしま産業振興機構に委託 を行う必要があるため。

(金額単位:千円)

<u> 所管課: 経済産業政策課</u>

Ī			契約	内容	相手方選	-	勺日等		1金額		随意契約の理由等
	番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数		契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	11		賃上げ応援!生産性向上 投資促進事業費補助金事 務局運営事業	県内の中小企業等が行う生産 工程やサービス提供方法の改 善に必要な設備・システム投資 に要する経費の一部を助成する 「賃上げ応援!生産性向上投資 促進事業費補助金」の事務局運 営	1	当初契約 R6/10/8 (一部変更 R7/3/31)	R8.3.31	10,000	0	第2号(競争に不向き)	投資等による生産性向上の取組みに対して助成を行うものであるため、「『とくしまDX推進センター』による支援を受け、DX推進計画を策定して取り組むまと」を補助要件としている。・また、国の「重点支援地方交付金」を活用することから、事業実施期間に結構りがあり、速やかな事業展開を図るとともに、それぞれの企業の経営課題に対応した最適な設備・システムの効果的知からDX推進計画の策定、補助事業の進行が理を行う必要がある。デジタル化による生産性の向本県の「DX推進センタル化による生産性の向本県の「DX推進センタル化との方とともに、「とくしまDX推進センタル化による生産性のの本県の「DX推進センタル化との生産性のの本県の「DX推進センタル化による生産性のある本県の「DX推進センタル化との大きで支援を行うとともに、中外企業の対率化・1のでは、「とくしまDX推進センタル化置づけられ、「とくしまDX推進センタル化との大きでですがある。手業は経済の活性化その発展に成る経営を行うとともに、中外の対象をといるとは対象を定め、事業は関連を行うとくしまの表別の表別を表別である。といるは、「とくしまな、「とくしまな、「とくしまを業別である。」といるは、「とくしまな、「とくしまな、「できな、「できな、」といるといる。

団 体 名: (株)徳島健康科学総合センター

(金額単位:千円)

所管課: 企業支援課

				=						
		契約	内容	相手方選	契約	内日等	契約	內金額		随意契約の理由等
番-	三	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	1 ①委	頑張る中小企業応援体制 構築事業に係る契約	・生成AIやDX推進等をテーマにした新なビジネス展開の契機となるセミナーの開催・県内の起業・創業に関心のある学生と学生起業家とのマッチング(基調講演・情報交換等)の実施・常設の「交流サロン」設置・運営	1	R6.4.1	R7.3.31	6,594	6,594	第2号(競争に不向き)	当業務の執行には、県内中小企業の振興及び本県経済飛躍の実現を図るための講座等の開催について、産業界等から必要な人材の参画を募り、かつ、短期間で幅広く意見集約を行うとともに必要なで幅広く意見集約を行うことが不可欠である。また、スタートアップ企業の交流の場として、常設の「交流の場」を設置することとして、常設の「交流の場」を設置することとしており、常に利用るに対する細やかな対応が必、常に利用者に対する細やかな対応が必、常に利用者に対する細やかな対応が必、常に利用者に対する細やかな対応が必、常に利用者に対応が必な場合としており、常に対しているととして、場の施策運営について禁しく、かり及び県内産業高度化の主義を設定として、場の施策運営について詳しく、かり及び実績を有している株式会社徳島健康科学総合センターに委託を行う必要があるため。

団 体 名: (公財)徳島県農業開発公社

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委託	とくしまブランド推進機構展 開事業(県単事業)	「とくしまブランド」の生産・流通・販売を総合支援する「とくしまブランド推進機構」による活動効果を発揮させるため、適切な人材を配置し、産地及び消費地での支援活動を促進する。	1	R6.4.1	R7.3.31	11,098	11,098	第2号(競争に不向き)	とくしまブランド推進機構(以下「機構」という)は、本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、(公財)徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、JA全農とくしま、徳島県の4者により平成28年2月に設置した組織である。(公財)徳島県農業開発公社は機構のコントロールタワーとして、新たな販売チャネル開発による所得向上等の支域での農林水産的り、対象国、地販路別がの農林水産的り、本業務の遂行にあたり、成業がのである。生産者と国内外の商社等バイヤーとの人的ネットワークや、県下の地域計画の情報を有し、包括的に輸出促進を行うことができる唯一の団体である。
2	①委託	とくしまブランド推進機構展開事業	「とくしまブランド」の生産・流通・ 販売を総合支援する「とくしまブ ランド推進機構」による活動効果 を発揮させるため、適切な人材 を配置し、産地及び消費地での 支援活動を促進する。	1	R6.4.1	R7.3.31	12,563	12,563	第2号(競争に不向き)	とくしまプランド推進機構(以下「機構」という)は、本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、(公財)徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、JA全農とくしま、徳島県の4者により平成28年3月に設置した組織である。(公財)徳島県農業開発公社は機構のコントロールタワーとして、新たな販売チャネル開発による所得向上等の支援のため、輸出部門を設け、対象国、地域での農林水産物等の市場調査及び販路開拓を行っており、本者と国内外の商社等バイヤーとの人的ネットワークや、県下の地域計画の情報を有し、包括的に輸出促進を行うことができる唯一の団体である。
3	①委託	とくしまブランド消費地プロ モーション事業	「とくしまブランド」の生産、流通及び販売を総合支援する「とくしまブランド推進機構」の機能を発揮し、大消費地へ向けた県産品のプロモーションを図る、	1	R6.4.1	R7.3.31	2,900	2,900	第2号(競争に不向き)	とくしまブランド推進機構(以下)機構」という)は、本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、(公財)徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、JA全農とくしま、徳島県の4者により平成28年4月に設置した組織である。(公財)徳島県農業開発公社は機構のコントロールタワーとして、新たな販売チャネル開発による所得向上等の支援であため、輸出部門を設け、対象国、地販路別拓を行っており、本業務の遂行にあたり、本業務の遂行にあたり、本業務の遂行にあたり、本業務の遂行にあたり、本者と国内外の商社等バイヤーとの人的ネットワークや、県下の地域計画の情報を有し、包括的に輸出促進を行うことができる唯一の団体である。

団 体 名: (公財)徳島県農業開発公社

		契約	内 容	相手方選	契約	内日等	契約	1金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
4	①委託	とくしま農林水産物等海外 輸出推進事業(販売促進 分)	「とくしまブランド戦略」に基づき、市場開拓と拡大に取り組み、一層の輸出拡大につなげることで、「とくしまブランド」のブランドカ向上及び地域の活性化を図る。	1	R6.4.1	R7.3.31	32,500	32,500	第2号(競争に不向き)	とくしまブランド推進機構(以下「機構」という)は、本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、(公財)徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、JA全農とくしま、徳島県の4者により平成28年5月に設置した組織である。 (公財)徳島県農業開発公社は機構のコントロールタワーとして、新たな販売チャネル開発による所得向上等の支援のため、輸出部門を設け、対象国、地域密の農林水産物等の市場調査及び販路開拓を行っており、本業務の遂行にあたり必要となる、生産者と国内外の商社等バイヤーとの人的ネットワークや、県下の地域計画の情報を有し、包括的に輸出促進を行うことができる唯一の団体である。
5	①委託	とくしま農林水産物等海外輸出推進事業(人材育成分)	「とくしまブランド戦略」に基づき、海外展開を目指す意欲ある人材の育成を通じて、一層の輸出拡大につなげることで、「とくしまブランド」のブランドカ向上及び地域の活性化を図る。	1	R6.4.1	R7.3.31	7,200	7,200	第2号(競争に不向き)	とくしまブランド推進機構(以下「機構」という)は、本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、(公財)徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、JA全農とくしま、徳島県の4者により平成28年6月に設置した組織である。 (公財)徳島県農業開発公社は機構のコントロールタワーとして、新たな販売チャネル開発による所得向上等の支援で別ため、輸出部門を設け、対査及び販路門を設け、対査及び販路別が変となる、生産者と国内外の商社等がイヤーとの人的ネットワークや、県下の地域計画の情報を有し、包括的に輸出促進を行うことができる唯一の団体である。

団 体 名: (公財)徳島県農業開発公社

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	う金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
6	①委託	勝ち抜く! 園芸産地強靱化 事業業務	園芸品目の生産振興及び流通 販売に係る課題解決のための 活動・取組への助成	1	R6.4.1	R7.3.31	5,700	5,700	第2号(競争に不向き)	本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、全農徳島県本部、徳島県の4者で構成するとくしまブランド推進機構のコントロールタワーを担うとともに、県下の農業者や農地に関する情報の集約を図ることができる組織であり、本事業を効果的に実行できる事業者がほかに存在しないため。
7	①委 託	県産農産物市場開拓支援 事業業務	海外輸出に向けた県産農産物 のブランドカ強化を図るための 生産体制の構築への支援	1	R6.11.1	R7.3.15	980	980	第2号(競争に不向き)	本県農林水産業の生産・流通・販売までを総合支援するため、徳島県農業開発公社、JA徳島中央会、全農徳島県本部、徳島県の4者で構成するとくしまブランド推進機構のコントロールタワーを担うとともに、担い手農家への農地集積を推進する農地中間管理事業の実施主体であり、園芸品目の生産振興及び流通・販売等に係る課題解決のための産地強化活動を実施している組織であり、本事業を効果的に実行できる事業者がほかに存在しないため。

<u> 所管課:</u> 林業振興課

団 体 名: 徳島森林づくり推進機構

	- FT	н.	製 約	内 容	相手方選	却纟	的日等	却	1金額		随意契約の理由等
番	号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	元 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うち6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
			令和6年度森林管理情報収 集事業	県有林、県行造林、公団造林 地において、定期的な巡視を行 うことにより、盗伐・誤伐の予防、 境界標識の保全、確実な森林の 更新及び火災の予防や有害鳥 獣・病害虫の被害調査などの情 報収集を行う。	1	R6.6.24	R7.3.12	4,846	4,846	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、これまで県内一円において森林整備事業及び緑化事業を推進してきた実績があり、それに伴って森林管理に関する総合的な情報を収集、保有している。また、分収林を核とした一体的な施業を行ってきた実績がある唯一の団体であることから、本業務が実施できるのは、徳島森林づくり推進機構の他にない。
	2	少話	R6森林「森林の番人」を活 用した森林の監視・情報収 集業務	「保安林」及び「森林管理重点 地域」等における伐採や開発行 為、自然災害などについて監 視・情報収集をすることにより、 森林の適正な管理を推進する。	1	R6.9.4	R7.2.28	3,410	3,410	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、本県森林 の適正な管理と利用を推進する「徳島県 豊かな森林を空場」の実行組織であ り県内全域で森林を整備・管理しており、 森林・林業に関する豊富な経験や高い技 術力を活かし、森林の売買に関する情報 収集、管理が行き届かない恐れがある森 林の状況把握、各種団体や企業など多 様な主体が協働した森林管理の推進な どを行っている唯一の団体であり、こま でにも森林の適切な監視・情報収集を 行ってきたことから、本事業が実施できる のは、徳島森林づくり推進機構をおいて 他にない。
	3		令和6年度森林経営管理制 度支援業務	市町村にアドバイザーを派遣し、 地域の現状に合わせた取組モ デルの検討・作成や資料作成を 実施し、新たな森林管理システ ム」の推進を図る。	1	R6.7.8	R7.3.24	871	871	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内の市町の森林経営管理制度を効率的に進めるために設立された「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」及び「徳島東部・吉野川流域森林管理システム推進協議会」の事務局を担い、県内で包括的に森林経営管理制度を進めており、当該制度に非常に精通し多くの知見を有している。本業務は、上述協議会に参加しておらず当該制度の運用について支援を求めている市町村に対して、個別指導を行うことから、本業務を実施できるのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。

<u> 所管課: 林業振興課</u>

団 体 名: 徳島森林づくり推進機構

		契約	内容	相手方選	契約	約日等	契約	分金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数		契約業務 の終期	総額	うち6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	4 ①委 託	令和6年度森林情報管理· 利活用協議会運営業務	県や市町村、林業事業体で個別に管理・運営されている森林情報について、本県の統一的な取扱方法を検討する協議会の運営を行い、森林情報の管理適正化と利活用の推進を図る。	1	R6.7.22	R7.3.28	967	967	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内において航空レーザー解析データといった高精度な森林情報を既に先進的に活用しているほか、業務を通じて県内全域の市町村や林業事業体との連携体制が既に構築されていることから、本業務を実施できるのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。
	5 託	令和6年度森林サイクル確 立促進対策業務	「徳島伐採搬出・再造林ガイドライン」の遵守に向けた体制を整備するための情報収集を行うほか、県内事業体の優良な取り組みを収集し、事例集として作成・配布するほか、研修会を開催する。	1	R6.11.11	R7.3.24	2,640	2,640	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内の約1.3万haの森林を管理し、県内各地で森林整備事業を展開しており、特に、平成27年度からは直営の作業班員を組織し、自らが伐採・再造林事業を実施するとともに、伐採・再造林事業を実施するとともに、伐採・再造林事業のあっまた、「徳島伐採搬出・再造林ガイドライン協議会」の事務局を務めており、県内の林業就業者を対象に、研修に必要なす。とは、・かつ、伐採・搬出技術に係るのとなり、県内の林業就業者を対象に、研修に必要なす。とは、・かつ、伐採・再造林するたと実績もあり、研修に必要なす。とは、・あり、この業務を実施できるのは、・徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。
	6 ①委託	令和6年度造林の省力化に 向けた植栽試験調査業務	植栽時期によるスギコンテナ苗の成長の違いについて、下刈り時の植栽木と雑草木の競合状態から評価するために、下刈り実施前後の植栽地で、解析に必要な植栽地の画像をRTK測位が可能なドローンを用いて撮影する。	1	R6.8.5	R7.2.28	482	482	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内植栽面積の約3/4を担う事業体であり、当該研究の条件に該当する植栽地(植栽時期の異なる県下4箇所で植栽を実施)を所有する唯一の林業事業体である。また、衛生の詳細な情報と基準局を用いた精密な位置測定(RTK測位)の機能を持つドローンを県内で唯一所有している事業体であり、本業務を実施できるのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。

所管課: 林業振興課

団 体 名: 徳島森林づくり推進機構

		+7. (1		-	±= /	1 = 6	in the	/ A +T		De + + + 1 // - + TD //-
		契 約	_内 容	相手方選	契約	り日等	契約	5金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うち6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
7		令和6年度とくしま協働の 森づくり事業委託業務	企業等を含めた県民総ぐるみで「とくしま協働の森づくり事業」を推進するため、対象森林の現地調査やCO2吸収量の算定、あわせて企業に対する事業への参画意向調査及び証明書交付等に関する事務を一体的に行う。	1	R6.4.12	R7.3.31	4,081	4,081	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、寄附金を「緑の募金」使途認定募金として受け入れられる県内唯一の森林整備法人であり、かつ寄附金を損金算入することができる特定寄付金を扱う公益法人として認められている。また、森林の造成や健全な育成を行う森林整備事業を実施しており、森林の価格評価を行う森林を開価に対し、ことれまで入り、本本のでは、でしていることから、本業務を実施しているのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。
8	①委託	令和6年度「とくしま林業アカデミー」オープンキャンパス運営業務	「とくしま林業アカデミー」の理念や研修内容及び徳島県の林業について理解を深めてもらい、より多くの受講者の確保、また林業就業者の増加につなげるため、オープンキャンパスを開催する。	1	R6.6.10	R7.1.30	600	600	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、「とくしま林 業アカデミー」の運営を担っており、林業 現場で活躍できる即戦力となる人材を育 成するために研修業務を実施している。 また、森林経営管理の受託による植林 などの森林整備やとくしま絆の森事業に よる森林の取得・整備を進めており、に下 全体をフィールドとして、森林の健全な 成と育成を行う森特整備法人として、市 町村、森林組合等とから、本業務を実施 できるのは、徳島森林づくり推進機構を おいて他にない。

<u> 所管課:</u> 林業振興課

団 体 名: 徳島森林づくり推進機構

		応 品 林 か ノング 肚 進 液 併								(並領年位,十月)
		契 約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	分金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うち6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
9	①委託	令和6年度林業架線スペシャリスト育成事業	増産対策には主伐の推進が不可欠であり、架線技術や大径木の伐採・造材技術など、主伐に対応できる技術者を育成するための研修を実施する。	1	R6.6.21	R7.3.26	4,884	4,884	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内約1.3 万haの森林を管理し、県内各・地で森林整備事業を展開しており、特に、平成27年度からは事業を展開しており、特に、主徒事業のあっせん受託を行う森林整備法人である。また、平成24年度からは、県内の林業就業者を対象に、素材生産実施してきた。とをはじめ、研修に事業に関する私組にが、場内全域の市町村・森林ととをはじめ、研修に事業に関する私組会を社員に擁するネットワークを有し、大田の構築を変易に行うことができるとから、本業務を実施できるのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。
10	① 委 託	令和6年度獣害対策プロフェッショナル育成事業	造林地における鳥獣害が深刻な本県において、現況に見合った獣害対策施設の標準図再検討と造林作業者の技術標準化を目的としたガイドラインを作成する。	1	R6.8.8	R7.3.25	4,853	4,853	第2号(競争に不向き)	徳島森林づくり推進機構は、県内全域で植栽を実施する唯一の団体であり、近年は、県内の6割以上の植栽実績があるため、現地検証を実施する現場を多数有する。さらに、同団体は植栽事業を現地条件に合わせて設計し、資材を発注及び外部委託するため、資材メーカーと事業体に関する知見も有しており、県内で基本に精通した林業事業体であることから、本業務を実施できるのは、徳島森林づくり推進機構をおいて他にない。

団 体 名: (公財)徳島県林業労働力確保支援センター

		契約		相手方選	契約	的日等	契約	1金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	新たな林業担い手確保事業	新規林業就業者を確保する取 組を実施する。	1	R6.5.1	R7.3.28	3,080	3,080	第2号(競争に不 向き)	本業務は新規林業就業者の確保に資する取組を行うものであり、当センターは県内林業事業体の採用事情に明るく、ハローワークを除いては就業者募集行為を行い得る県内唯一の団体であるため。
2	① 委 託	フォレストリーダー育成事業	就業後5年以上経過した林業従 事者を対象とした研修等を実施 する。	1	R6.8.8	R7.3.24	3,520	3,520	第2号(競争に不 向き)	本業務は、間伐などの作業計画や現場管理、高性能林業機械の安全管理など、現場作業管理に必要な研修を行うものであり、これまで「就業相談窓口」の設置や「各種研修」の実施など多くの実績があり、この業務実施に必要な知識と人材を有し、経験も豊富な県内唯一の団体である。
3	①委 託	路網作設高度技能者育成 事業	素材生産の最も重要な基盤となる森林作業道作設の高度の現場技術者を養成する。	1	R6.10.25	R7.3.24	1,397	1,397	第2号(競争に不 向き)	本業務は路網を効率的に作設するために作業班長レベルの熟練した技術者を養成するものであり、当センターは林業労働力の確保の促進に関する法律に基づき、雇用管理、安全管理等の指導を行う県内唯一の団体であるため。
4	①委 託	林業起業支援バックアップ 事業	起業や経営改善に関する研修 や、各種手続き等に関する支援 や雇用管理の経営診断を行い、 サポートやアドバイスを実施す る。	1	R6.8.23	R7.3.24	2,497	2,497	第2号(競争に不向き)	本業務は起業予定者や起業後間もない 林業事業体の起業支援や経営改善を図 るものであり、当センターは林業労働力 の確保の促進に関する法律に基づき、雇 用管理の改善及び事業の合理化並びに 新たに林業に就業しようとする者の就業 を支援することとされているため。
5	①委 託	森林施業プランナー育成対策事業	森林整備や路網整備を企画・提案できる「森林施業プランナー」 を育成する。	1	R6.9.9	R7.2.22	1,324	1,324	第2号(競争に不 向き)	本業務は森林施業プランナーに必要な知識と技術を習得させる業務であり、当センターは事業実績もあり、業務実行に必要な知識と人材を有する県内唯一の団体であるため。
6	①委 託	フォレストワーカー定着支援事業	ワンストップ相談窓口を設置する ほか、働きやすい職場づくりに向 けたアンケート調査やストレス チェック、面談を実施する。	1	R6.8.30	R7.3.26	1,993	1,993	第2号(競争に不向き)	本業務は、林業従事者の定着促進を図るための業務であり、「就業相談窓口」の設置や「各種研修」の多くの実績とノウハウを有し、かつ、ハローワークを除いては、林業関係の業種に係る就業者の募集行為ができる県内唯一の団体である。

契約のうち随意契約によるもの

団 体 名: (公財)徳島県水産振興公害対策基金

(金額単位:千円)

<u> 所管課:</u> 水産振興課

		契約	内容	相手方選	契約	り日等	契約	金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
			クルマエビ・アワビ・トコブシ・ア ユ等の水産種苗の生産	1	R6.4.1	R7.3.31	154,603	154,603	第2号(競争に不 向き)	徳島県産の親魚を必要量確保し、健全な種苗を生産できる能力を有するのは当団体のみである。また、同団体は昭和55年度以降、本業務を受託し、良好に業務を完了した実績を有する。

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	力金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	① 委 託	R6徳土 石井引田線他 板·矢武他 橋梁定期点検 業務	橋梁定期点検業務	1	R6.6.20	R7.3.10	15,851	15,851	第2号(競争に不向き)	公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、東部県土整備局と公益財団法人徳島県建設技術センターは「道路構造物の点検等業務の支援に関する協定書」を令和5年2月に締結しており、協定書第6条に基づき、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。
2	① 委 託	R6徳土 鳴門池田線他 鳴·大津木津野他 橋梁定 期点検業務	橋梁定期点検業務	1	R6.6.20	R7.3.10	14,828	14,828	第2号(競争に不向き)	公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、東部県土整備局と公益財団法人徳島県建設技術センターは「道路構造物の点検等業務の支援に関する協定書」を令和5年2月に締結しており、協定書第6条に基づき、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。
3	①委 託	R6波土 由岐大西線他 美波·伊座利他 設計積算等 支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.4.10	R7.2.28	5,455	5,455	第2号(競争に不向き)	本業務は、設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、県土木工事の積算ができる唯一の団体であることから、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行うものである。

		契約 約	内容	相手方選	<u>却</u> 绐	的日等		1金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
4	① 委 託	R6吉土 国道193号線他 吉·美郷照尾他 設計積算 等支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.4.19	R6.11.15	3,025	3,025	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事に係る設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、県と同じ積算システムを導入し、同一条件で積算ができる唯一の団体であることから、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行った。
5	①委託	R6馬土 鳴門池田線(鍋倉 新橋)他 美·美馬天神他 設計積算等支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.4.23	R6.9.30	1,793	1,793	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事にかかる設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、県と同じ積算システムを導入し、同一条件で積算ができる唯一の団体建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。
6	①委託	R6那土 さぬき川他 那賀· 牛輪他 設計積算等支援業 務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.8.20	R6.10.30	550	550	第2号(競争に不向き)	本教務は、設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、県と同じ積算システムを導入し、同一条件で積算ができる唯一の団体であることから、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。

		契約 約	内容	相手方選		的日等		力金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	元 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
7	①委託	R6徳土 亀浦港櫛木線(堀 越橋)他 鳴·鳴門土佐泊浦 〜瀬戸堂浦他 設計積算等 支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.6.7	R6.10.31	7,590	7,590	第2号(競争に不向き)	公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。また、県と同じ積算システムを導入し、同一条件で積算できる唯一の団体であることから、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。
8	①委託	R6那土 国道195号他 那 賀·中山他 設計積算等支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R7.1.7	R7.3.25	5,415	5,415	第2号(競争に不向き)	本教務は、設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に 係る測量、調査、設計、積算、技術審査、 監督、検査等への補助又は支援する機 関として設立されており、十分な実績及 び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、同 一条件で積算ができる唯一の団体である ことから、公益財団法人徳島県建設技術 センターに随意契約を行おうとするもので ある。
9	①委託	R6徳土 国道193号他 神· 上分他 設計積算等支援業 務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R6.6.20	R6.11.29	4,114	4,114	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事に係る設計積算を 委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に 係る測量、調査、設計、積算、技術審査、 監督、検査等への補助又は支援する機 関として設立されており、十分な実績及 び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、同 一条件で積算ができる唯一の団体である ことから、公益財団法人徳島県建設技術 センターに随意契約を行おうとするもので ある。

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	力金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
10	① 委 託	R6馬土 上蓮小野線(鹿老 渡橋)つ・半田平石他 設計 積算等支援業務	改修工事に係る設計積算等支 援業務	1	R7.1.9	R7.3.25	1,540	1,540	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事にかかる設計積算を委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に係る測量、調査、設計、積算、技術審査、監督、検査等への補助又は支援する機関として設立されており、十分な実績及び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、同一条件で積算ができる唯一の団体であることから、公益財団法人徳島県建設技術センターに随意契約を行おうとするものである。
11	① 委 託	R6徳土 二宮山川線 神· 阿野 設計積算等支援業務	改修工事に係る設計積算等支援業務	1	R6.12.10	R7.3.25	495	495	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事に係る設計積算を 委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センター は、県及び市町村等が施行する事業に 係る測量、調査、設計、積算、技術審査、 監督、検査等への補助又は支援する機 関として設立されており、十分な実績及 び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、同 一条件で積算ができる唯一の団体である ことから、公益財団法人徳島県建設技術 センターに随意契約を行おうとするもので ある。
12	①委託	R6吉土 国道193号線他 吉·美郷照尾他 設計積算 等支援業務(2)	改修工事に係る設計積算等支援業務	1	R6.10.11	R7.3.10	1,870	1,870	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事に係る設計積算を 委託する業務である。 公益財団法人徳島県建設技術センターは、県及び市町村等が施行する事業に 係る測量、調査、設計、積算、技術審査、 監督、検査等への補助又は支援する機 関として設立されており、十分な実績及 び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、 同一条件で積算ができる唯一の団体で あることから、公益財団法人徳島県建設 技術センターに随意契約を行った。

		マスタンに出来を記り付ける	<u>7</u> 内 容	相手方選	却纠	的日等		力金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
13	① 委 託	R6徳土 黒谷川他 板·那 東他 監督補助等業務	工事等に係る調査測量及び設 計積算業務、施工管理業務等 1式	1	R6.3.31	R7.3.31	16,830	16,830	第2号(競争に不向き)	本業務は、土木工事に係る設計積算を 委託する業務である。公共財団法人徳島 県建設技術センターは、県及び市町村等 が施工する事業に係る測量、調査、積 算、技術審査、監督、検査等への補助ま たは支援する機関として設立されており、 十分な実績及び公益性を有している。 また、県と同じ積算システムを導入し、 県土木工事の積算ができる唯一の団体 であることから、選定した。
14	①委託	令和6年度 1級土木施工管理技術検定試験受験準備 講習会業務	土木工事における最高レベルの 技術者として、良質な社会資本 整備に重要な役割を果たす1級 土木施工管理技士を養成するため、受験準備講習会を開催す る。	1	R6.4.1	R7.3.19	1,606	1,606	第2号(競争に不向き)	本業務は、建設業の担い手不足の解消 と建設業者の技術力向上を図るため、建 設業法第27条に基づく国家資格である1 級土木施工管理技士の技術検定るもの受験準備に係る講習会を開催するもので 受験準備に係る講る会を開催するもので 業務内容は、講義カリキュラムを企ど専門 ある。 業務内容は、講義カリキュラムを企ど専門 知識を必要とするものである。 公益財団法人徳島県建設技術センタ業こと は、県内唯一の、県よう補完、大人様の出ましているよる、 当に設立と連携のもと「公共工事のよりでのため、関連に対し、とでのより、 を目訪法法かつもと「公共工事の人様の、関連事門のための技術支援・人の職員はめており、その職員はめており、その職員はめており、その職員はあると、需市のための技術支援・人の職員と極めており、その職員と極めており、その職員と極めており、その職員と極めており、またの、 を展開しており、その職員はめて高い専門 知識を有しているため。

(金額単位:千円)

所管課: 県土整備政策課

		契約	内 容	カイナツ	≢π∢	約日等	主刀火	为金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	相手方選 定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
15	①委託	土木建設工事に係る業務 指導等委託業務	・建設事業に係る測量、調査、設 計及び積算業務 ・建設事業に関する監督補助及 び検査補助業務 ・公共施設等の管理運営及び整 備業務	1	R6.4.1	R7.3.31	30,078	30,078	第2号(競争に不向き)	設計・積算業務、監督補助等の指導に関する業務委託であり、業務の性質上、各種関係制度や基準等に精通し、専門的知識や豊富な経験が必要であり、また、関係業者と利害関係がなく、現場における公平・公正かつ適正な判断が求められることから競争入札に馴染まない。近年、多発する自然災害への対応や、老朽化する公共施設の適正管理が求められる中で、技術職員の不足が深刻化する県及び県内市町村の現状においては、効率的・効果的な発注者業務に精通した者、また、技術面のみならず建設業を取り巻く関係法令・関係制度など業務を般に精通した者でなけれ業務受託が困難な業務であり、当団体以外に受託できる団体はない。
16	①委託	技術者人材クラスター事業に係る支援等委託業務	-公共事業の振興を目的とした 技術力向上の支援業務 -技術者及び技術情報の収集及 び管理業務 ・県、市町村、民間企業、大学等 の技術支援ニーズの把握及び 技術者の斡旋業務	1	R6.4.1	R7.3.31	4,100	4,100	第2号(競争に不向き)	技術者人材クラスター事業の支援委託であり、業務の性質上、各種関係制度や基準等に精通し、専門的知識や豊富な経験が必要であり、また、関係業者と利害関係がなく、現場における公平・公正かつ適性な判断が求められることから競争入札に馴染まない。また、県行政へのニーズが多様化・複雑化する中、県と関係団体との緊密な連携のもと、効率的・効果的に農林水産行政を推進していく必支があり、本業務は、公共事業を取り巻く関係法令・関係制度など業務全般に精通した者でなければ実行不可能な業務であり、他に替わり得る団体はない。

団 体 名: 徳島県土地開発公社

	<u>т ъ.</u>		д		±π.6	4 D / 2	±π ε//	- A 45	ı	(金額単位:十円)
		契 約 	内 容	相手方選 定時の見	- 学	约日等 	安 章	金額	+0+1/11+0-12	随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	地域高規格道路用地取得 事務委託	阿南安芸自動車道(桑野道路· 福井道路)用地取得		R6.4.30	R7.3.31	3,200	3,200	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第10条、第17条)、また、当該業務の遂行には損失補償基準や用地交渉、契約業務等に精通している必要があり、当該団体はそのための人材を有した団体であるため。
2	①委 託	地域高規格道路用地取得 事務委託	阿南安芸自動車道(海部野根道 路)用地取得		R6.4.30	R7.3.31	5,700	5,700	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立さ れた土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
;	①委 託	一般国道用地取得事務委 託	一般国道55号(牟岐バイパス) における用地取得事務の委託		R6.5.8	R7.3.31	5,900	5,900	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第10条、第17条)、また、当該業務の遂行には損失補償基準や用地交渉、契約業務等に精通している必要があり、当該団体はそのための人材を有した団体であるため。
2	①委 託	直轄河川改修用地取得事 務委託	旧吉野川改修事業(中喜来箇所 及び広島箇所)における用地取 得事務の委託		R6.5.16	R7.3.31	3,200	3,200	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
ŧ	①委 託	用地事務委託	公共事業に係る用地取得業務 の実施及び用地取得体制の整 備促進		R6.4.1	R7.3.31	11,583	11,583	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立さ れた土地開発公社の他にはない(同法第 10条、第17条)ため。
(①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	住吉万代園瀬橋線における用 地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	1,771	1,771	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。

団 体 名: 徳島県土地開発公社

<u> 121 </u>	<u>* 10 ·</u>	契 約	内 容	相手方選	- 契約	的日等	- 契約	全額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
7	①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	鳴門公園線(土佐泊浦〜三ツ石 エ区)における用地取得事務の 委託		R6.4.1	R7.3.31	293	293	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるため。
8	①委	道路改築事業用地取得事 務委託	徳島環状線(国府~藍住工区) における用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	3,355	3,355	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
ę	①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	小松島佐那河内線(三反地工 区)における用地取得事務の委 託		R6.4.1	R7.3.31	208	208	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第10条、第17条)、また、当該業務の遂行には損失補償基準や用地交渉、契約業務等に精通している必要があり、当該団体はそのための人材を有した団体であるため。
10	①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	徳島上那賀線(中角工区)にお ける用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	792	792	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
11	①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	徳島吉野線(西条工区)におけ る用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	1,308	1,308	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
12	①委 · 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	国道195号(石畳〜栩谷工区)に おける用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	12	12	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。

団 体 名: 徳島県土地開発公社

	. н.		中家	= 	±π.4	4 D 左	±n &i	5 秦 姑		(金額単位:十円)
		契 約 '		相手方選	契約	り日等	契約	金額	10 1m 10 4	随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
13	①委 託	緊急地方道路整備事業用 地取得事務委託	久尾宍喰浦線(久保②工区)に おける用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	2,556	2,556	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第10条、第17条)、また、当該業務の遂行には損失補償基準や用地交渉、契約業務等に精通している必要があり、当該団体はそのための人材を有した団体であるため。
14	①委 託	広域河川改修事業用地取 得事務委託	多々羅川における用地取得事 務の委託		R6.4.1	R7.3.31	1,416	1,416	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
15	①委 託	広域河川改修事業用地取 得事務委託	那賀川(十八女町工区)におけ る用地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	6,808	6,808	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
16	①委 託	広域河川改修事業用地取 得事務委託	那賀川(阿井工区)における用 地取得事務の委託		R6.4.1	R7.3.31	14,031	14,031	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第10条、第17条)、また、当該業務の遂行には損失補償基準や用地交渉、契約業務等に精通している必要があり、当該団体はそのための人材を有した団体であるため。
17	①委 託	広域河川改修事業用地取 得事務委託	西大堀川における用地取得事 務の委託		R6.4.1	R7.3.31	3,633	3,633	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。
18	①委 託	公共事業用地取得推進支 援業務(阿南庁舎)	阿南庁舎における用地取得業 務の支援		R6.4.1	R7.3.31	9,939	9,939	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。

契約のうち随意契約によるもの

団 体 名: 徳島県土地開発公社

(金額単位:千円)

<u> 所管課: 県土整備部用地対策課</u>

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約]金額		随意契約の理由等
番号	区分		契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
19		公共事業用地取得推進支 援業務(美波庁舎)	美波庁舎における用地取得業 務の支援		R6.4.1	R7.3.31	9,939	9,939	第2号(競争に不向き)	当該業務を受託し行えるのは、公有地の 拡大の推進に関する法律に基づき設立された土地開発公社の他にはなく(同法第 10条、第17条)、また、当該業務の遂行に は損失補償基準や用地交渉、契約業務 等に精通している必要があり、当該団体 はそのための人材を有した団体であるた め。

団 体 名: 徳島ハイウエイサービス株式会社

(金額単位:千円)

<u> 所管課: 高規格道路課</u>

				-						
	契約内容		相手方選	契約	勺日等	契約	5金額		随意契約の理由等	
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	小 託	来庁者駐車場等整理業務	来庁者駐車場整理券の発券・回収, 駐車場・駐輪場等整理業務 一式	1	R6.4.1	R7.3.31	17,160	17,160	第2号(競争に不向き)	徳島ハイウエイサービス株式会社は、本州四国連絡橋の設置により影響を受けた海運関係者の離職者対策として、本県も出資して設立された会社である。同社は、有料道路の料金徴収や地方自治体の所有施設等を管理運営業務を主に受託しており、本業務にも対応する能力を有した人材を十分確保しているものと判断される。また、同社は、来庁者駐車場の開設時(昭和61年)からの業務での駐車場における様々な経緯にもより、これまでの駐車場における様々な経緯にもりの業務成果が挙げられるのは同社が唯一である。更に、同社に本業務を委託することで「離職者対策」への寄与や「県内在住者への雇用創出」が見込まれるものと考える。

団体名:徳島ハイウエイサービス株式会社

(金額単位:千円)

		契約	内容	相手方選	契約	的日等	契約	1金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
2	①委 託	マリンピア沖洲他 植栽維持管理業務	マリンピア沖洲地区において、芝生の苅込みや樹木剪定によって 生じた廃棄物を収集・運搬・処分する業務		R6.4.1	R7.3.31	1,598	1,598	第2号(競争に不向き)	
3	①委 託	徳島みなと公園 他植栽維持管理業務	徳島みなと公園、中洲緑地、県 庁前護岸、南末広町の三角公 園において、芝生の苅込みや樹 木剪定によって生じた廃棄物を 収集・運搬・処分する業務	1	R6.4.1	R7.3.31	3,818	3,818	第2号(競争に不向き)	
2	1 ①委 託	マリンピア沖洲他清掃業務	マリンピア沖洲地区及びマリンピア沖洲防潮堤において、清掃によって生じた廃棄物を収集・運搬・処分する業務	1	R6.4.1	R7.3.31	490	490	第2号(競争に不向き)	徳島ハイウェイサービス(株)は、本州四国連絡橋の開通により影響をうける港湾関係労務者の雇用対策の一環として設立された、県も出資する第三セクター会社であり、設立以来、県の施策として、港
Ę	①委 託	徳島みなと公園他清掃業務	徳島みなと公園、中洲緑地、県 庁前護岸において、清掃によっ て生じた廃棄物を収集・運搬・処 分する業務	1	R6.4.1	R7.3.31	1,225	1,225	第2号(競争に不向き)	湾法に基づく港湾環境整備施設である徳島みなと公園等の清掃、植栽維持管理及び除草の業務を委託しており、他社と比べて業務委託箇所の港湾施設箇所にも精通し、円滑な業務の施工が可能である。
6	①委 託	徳島みなと公園他除草業務	徳島みなと公園、中洲緑地、県 庁前護岸、南末広町の三角公 園において、除草によって生じた 廃棄物を収集・運搬・処分する 業務	1	R6.8.1	R6.10.31	421	421	第2号(競争に不向き)	.
7	①委 託	マリンピア沖州地区除草業務	マリンピア沖洲環境緑地他、マリンピア沖洲防潮堤、マリンピア沖洲防潮堤、マリンピア沖洲 納接続道路において、除草によって生じた廃棄物を収集・運搬・処分する業務	1	R6.8.1	R6.10.31	1,441	1,441	第2号(競争に不向き)	

団 体 名: 徳島ハイウエイサービス株式会社

(金額単位:千円)

		契約	内容	相手方選	契約	5日等	契約	勺金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
8	①委 託		徳島みなと公園における、歩道 の通行に支障となる枝の剪定お よび倒木している樹木の伐採業 務	1	R6.10.11	R6.10.24	147	147	第5号(緊急を要	徳島ハイウェイサービス(株)は入札参加業者で過去にも実績がある。また、樹木の枝・倒木等による通路へは出す箇所がみられ、歩行者の通行に支障が生じており、早急に対応する必要がある。
9	①委 託	マリンピア沖洲 東側歩道 剪定・草刈業務	マリンピア沖洲臨港道路歩道に おいて生い茂っている、雑木・雑 草の剪定・草刈業務	1	R6.10.22	R6.10.25	91	91	第5号(緊急を要する)	徳島ハイウェイサービス(株)は入札参加 業者で過去にも実績がある。 また、臨港道路歩道部において雑木・雑 草等が生い茂り、管理に支障が生じてお り、早急に対応する必要がある。
10	①委 託	徳島沖洲インター周辺草刈業務	徳島沖洲インターチェンジ周辺 において、通行車両からの視界 不良を起こしており、歩行者の 安全な通行に支障が生じている 雑草の伐採業務	1	R6.10.25	R6.11.7	264	264	第5号(緊急を要	徳島ハイウェイサービス(株)は入札参加 業者で過去にも実績がある。 また、徳島沖洲インターチェンジ周辺において 雑草が生い茂り、歩行者の安全な通行に 支障が生じており、早急に対応する必要 がある。

団 体 名: 徳島県住宅供給公社

		契約		相手方選	契約	的日等	- 契約	为金額		随意契約の理由等
番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
1	①委 託	徳島県営住宅の管理代行 業務	県営住宅の管理体制を充実し、 住民サービスの向上を図るた め、入居者募集、修繕等窓口業 務を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	329,316	329,316	第2号(競争に不向き)	公営住宅の管理は、公営住宅法において原則として事業主体が行うこととされているが、「事業主体の同意を得た地方公共団体、地方住宅供給公社は、事業主体に代わって公営住宅の管理を行うことができる。」とされており、徳島県営住宅の設置及び管理に関する条例で、市町村又は徳島県住宅供給公社が県営住宅の管理を行うことができることを示している。
2	①委 託	R6県営住宅長寿命化対策 業務	県営住宅既存ストックの長寿命 化を図り、住民が安心して暮ら せる住環境を維持するため、県 営住宅及び各種設備の改修等 を実施する。	1	R6.4.1	R7.3.31	61,597	61,597	第6号(競争が不 利)	本業務の実施にあたっては、県営住宅団 地全体の状況を適切に把握し、優先度の 高い業務から計画的に実施する能力が 求められる。 さらに、入居中の住戸内や共用スペース での作業を伴うなど、住民との綿密な調 整も必要となる。 よって、管理代行及び指定管理により 県営住宅の維持管理を行っている徳島 県住宅供給公社に委託することが、業務 効率を考慮すると最も有利である。
3	①委 託	旧津田乾開団地給水管更 新業務	旧津田乾開団地までの給水管を 更新する。	1	R6.11.8		7,112	7,112	第6号(競争が不 利)	県営住宅の指定管理者である住宅供給 公社と契約履行中の業務において集約 化団地管理業務を行っており、周辺の住 民との信頼関係を確立し、現地を熟知し ている必要がある。よって現に履行中の 契約者以外の者に履行させることが不利 であることから、随意契約により実施す る。
4	①委 託	県営住宅浴室給湯設備設 置業務	入居者の退去後において、浴槽 及び給湯設備が設置されていな い県営住宅の浴室に浴槽及び 給湯設備を設置する。	1	R6.4.1	R7.3.25	9,149	9,149	第6号(競争が不 利)	事業実施に際しては、県営住宅の空き家 修繕を行っている者が空き家修繕と同時 に実施することが作業効率や工事期間に おいて有利と考えられる。また、事業実施 者は県営住宅の現状を常に把握し、今後 の県営住宅の利用方針に沿った適切な 判断ができる者である必要がある。 そのため、県営住宅の管理代行・指定管 理を行っている徳島県住宅供給公社に委 託する。

団 体 名: 徳島県住宅供給公社

			契約	内容	相手方選	契約	勺日等	契約	う金額		随意契約の理由等
÷	番号	区分	名称(業務名等)	契約の概要	定時の見 積書徴収 数	契約日	契約業務 の終期	総額	うちR6年度 支払額	根拠規定 (自治法施行令第1 67条の2第1項)	「随意契約とした理由」及び 「当該団体を相手方とした理由」
	5	①安 红	宅対策総合支援センター運	空き家対策の推進を図るために 県が設置した「とくしま回帰」住 宅対策総合支援センターの運営 を行う。	1	R6.4.1	R7.3.31	25,494	25,494	第2号(競争に不向き)	本業務は、住宅の専門的な知識や経験を必要とし、価格競争では成果を期待し難い業務である。業務の実施に当たっては、住宅建築や売買及び管理に結通した知識を有する相談員の配置や、公空さ場で住宅の総合的な知識を有する空き家判定士を育成するとともに、気密性の高い義務の強を指して守秘義務の公産業として守秘義務の公産業として守秘義務の公産業として守秘義務の信理及び空き家対策に精通した知識・経験を高く、住宅の計画・建設・売買・管理をび空き家対策に精通した知識・経験を県住宅供給公社に委託するものである。